

【児童生徒アンケート】

1 目的

タブレット端末の学校や家庭での活用状況等について、児童生徒・教職員・保護者の実態を把握し、どのような対応や支援が必要なのかを検討し、今後の取組に生かす。

2 調査概要

【実施期間】 令和7年10月20日(月)～令和7年11月7日(金)

【回答数】

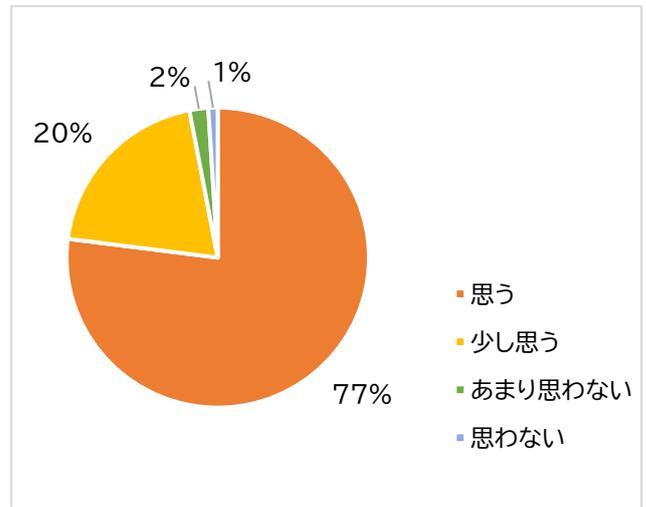
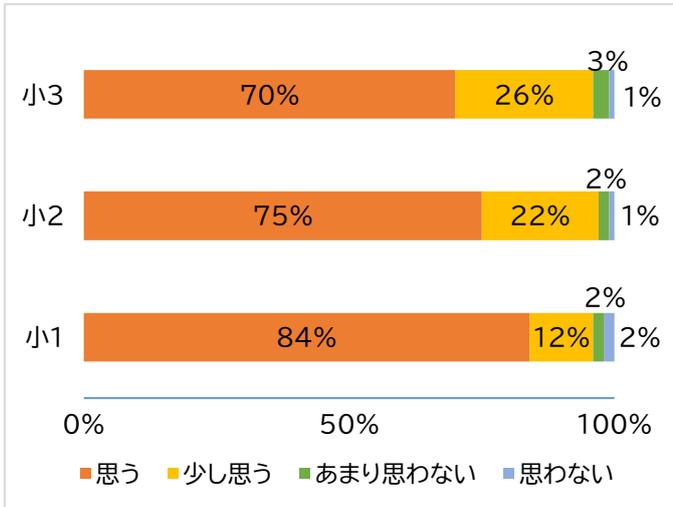
(1)児童生徒

アンケート対象	回答数	市内児童生徒数	回答割合
小学校下学年	2,762 人	4,094 人	約 67%
小学校上学年	3,168 人	4,513 人	約 70%
中学校	2,400 人	4,022 人	約 60%
合 計	8,330 人	12,629 人	約 66%

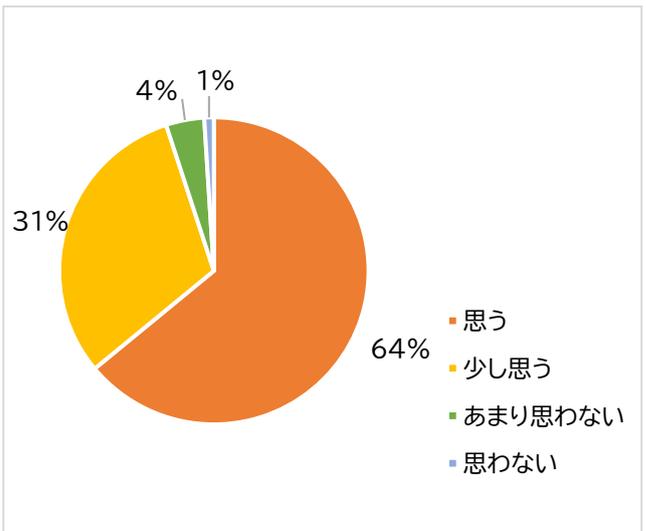
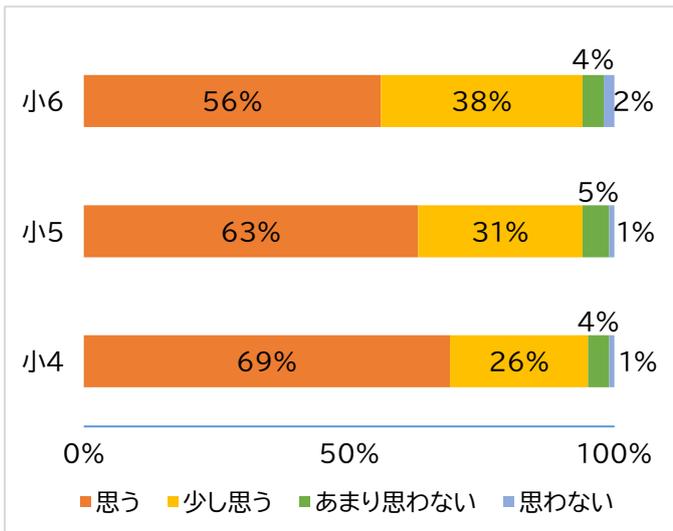
### 3 児童生徒の設問に対する回答

(1)タブレットをつかった学習は楽しいと思いますか。

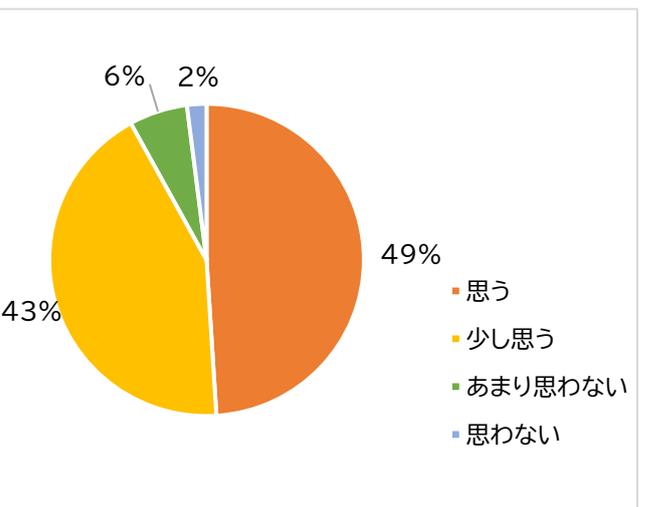
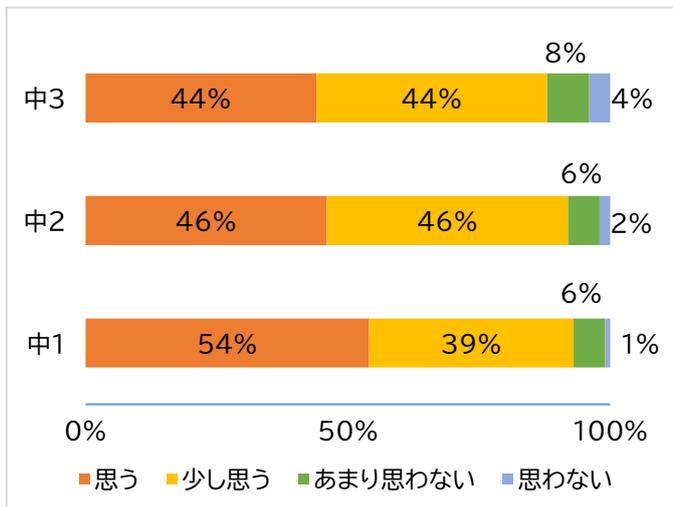
#### 【小学校1～3年生】



#### 【小学校4～6年生】

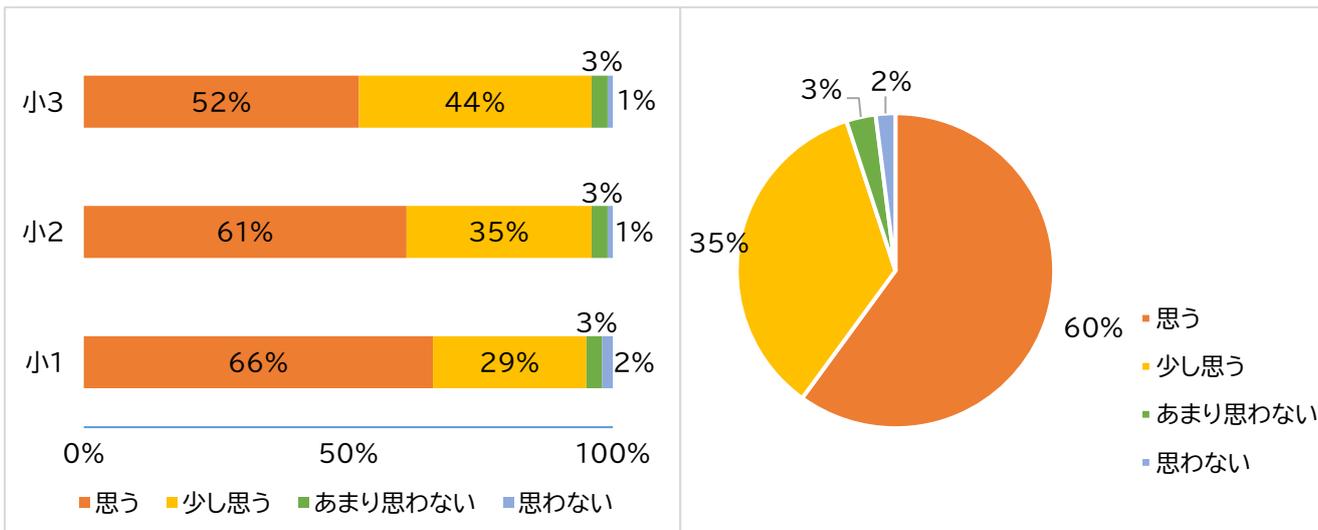


#### 【中学校1～3年生】

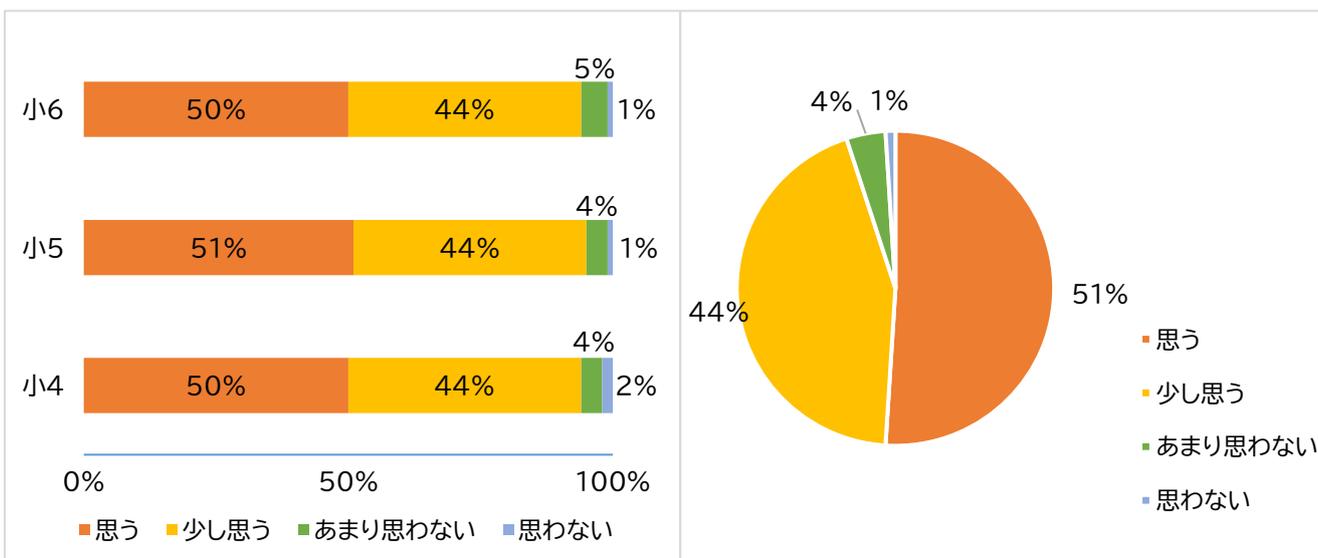


(2)タブレットをつかった学習はわかりやすいと思いますか。

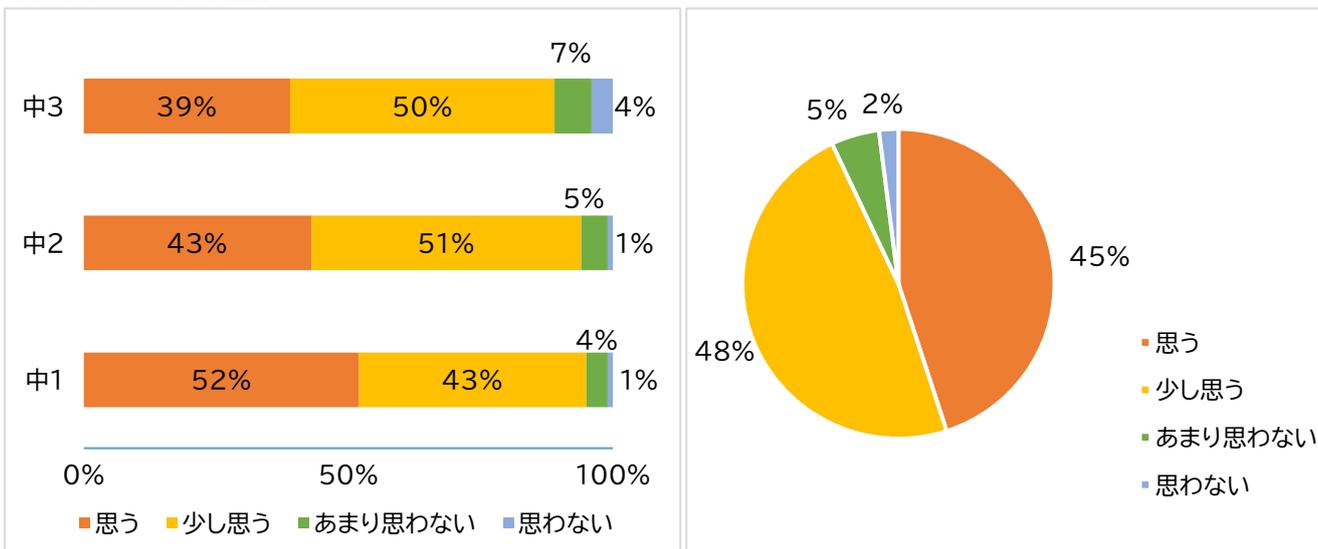
【小学校1～3年生】



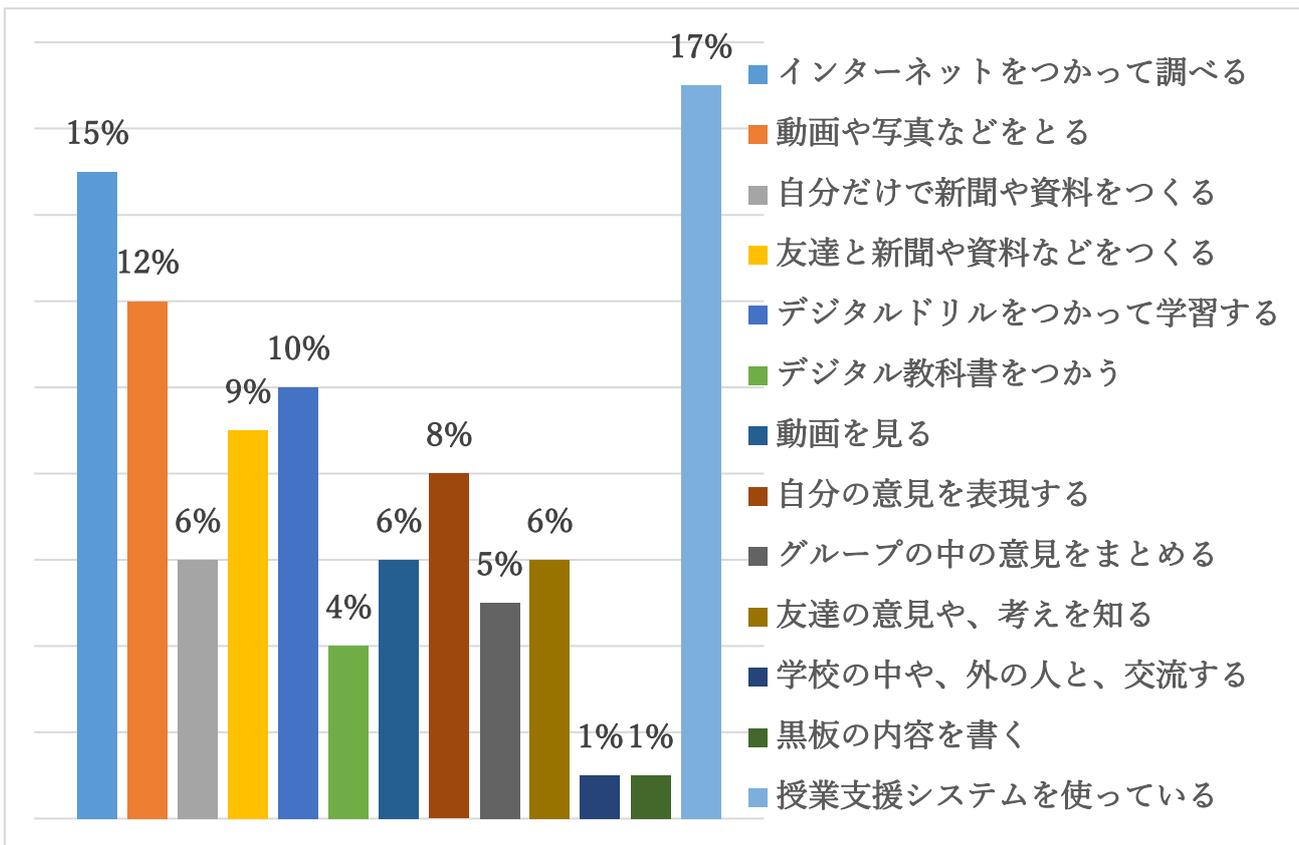
【小学校4～6年生】



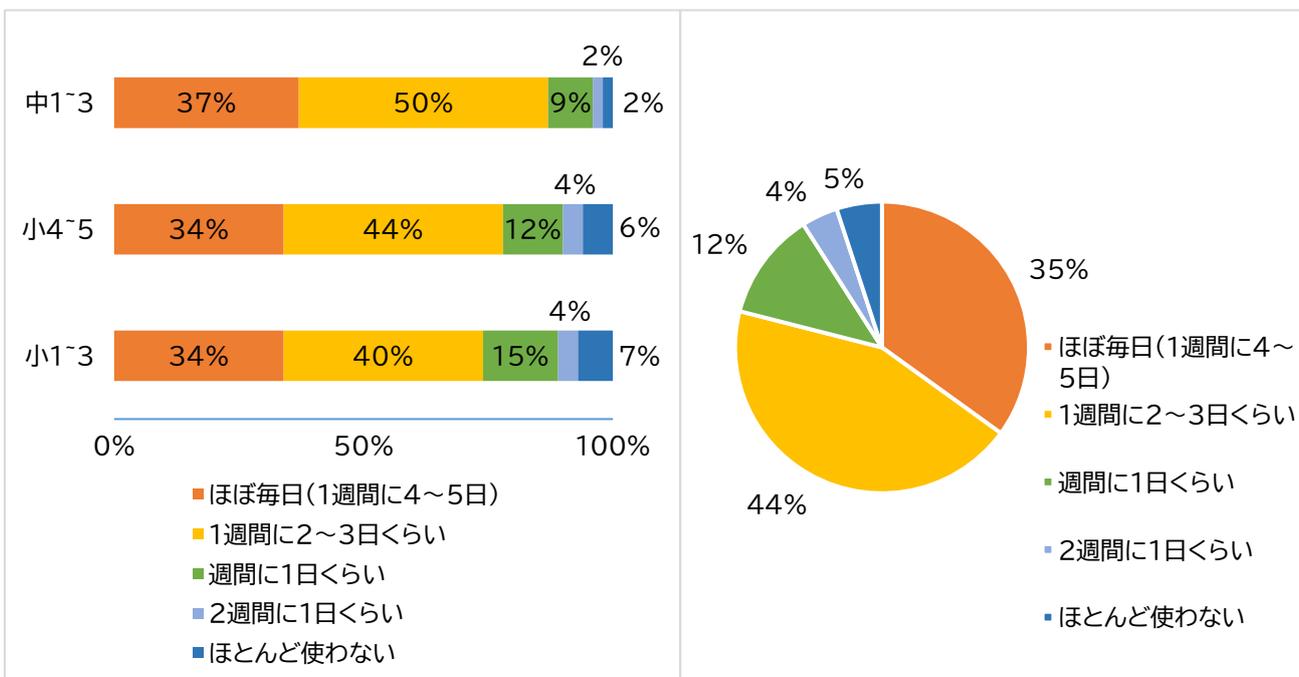
【中学校1～3年生】



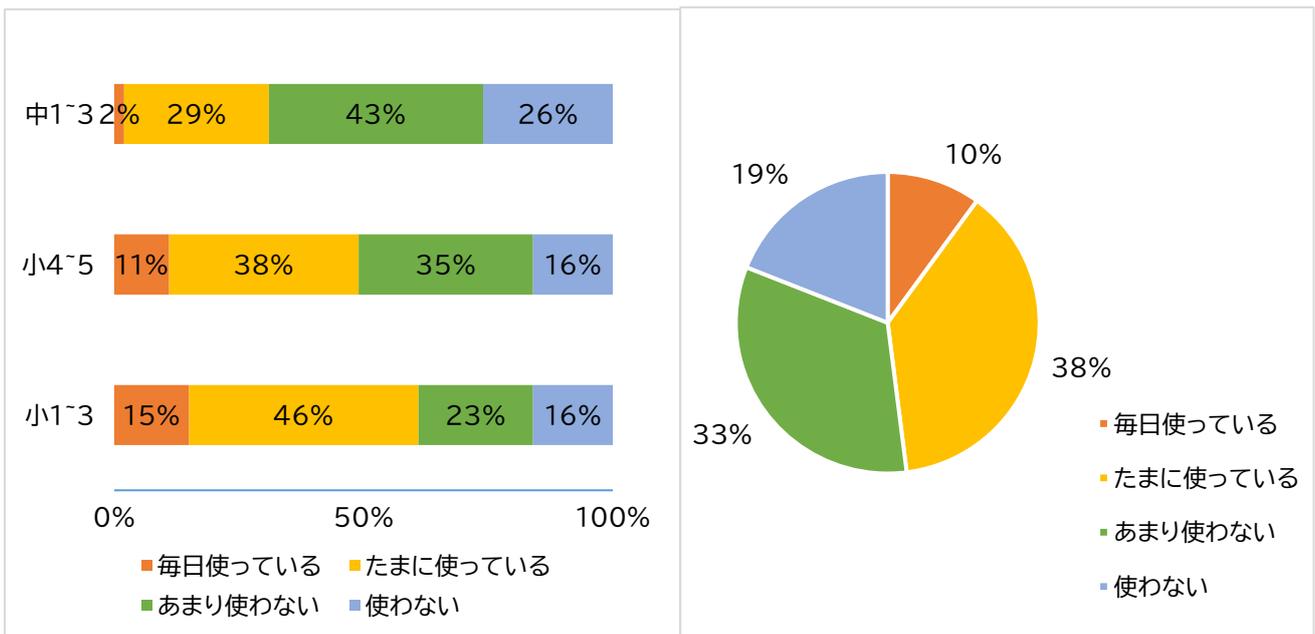
(3)授業においてどのようにタブレット端末を活用していますか



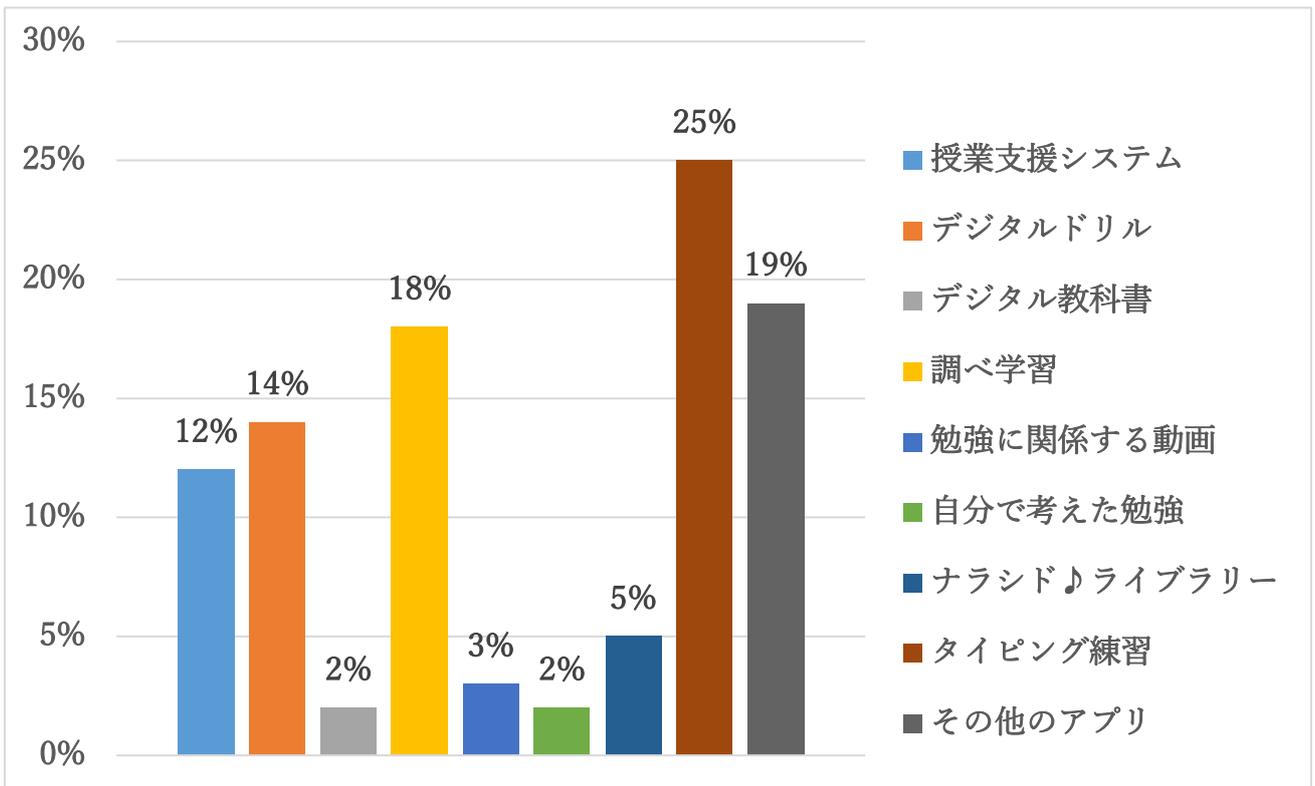
(4)【学校では、どの程度タブレット端末を使用していますか】



(5)【自宅でタブレット端末を使用することはありますか】



(6)【家でのタブレット端末をどのように使用していますか】



その他

・音読・九九練習・Teams・PowerPoint・プログラミング・アンケート 等

## 4 児童生徒の活用における成果と課題

### (1)成果

#### ① 学習意欲の向上

「タブレット端末を用いた学習の『楽しさ』と『分かりやすさ』との回答に相関性があり、「学習の楽しさ」の向上によって、学習意欲が向上していると考えられる。

#### ② 学校での活用頻度の増加

タブレットの活用状況において「ほぼ毎日活用する」と回答した割合は、令和5年度の24%から、令和6年度の32%を経て、令和7年度には36%へと増加している。

#### ③ 主要な活用方法

- ・全学年を通して、授業においては授業支援システムの活用が上位を占めている。
- ・家庭学習では、タイピング練習やアプリを使った学習が上位となっている。

### (2)課題

#### ① 学校での活用率の停滞

学校での端末活用率は、「ほぼ毎日活用する」が36%にとどまっている。また、「2週間に1度程度」や「ほとんど活用していない」という回答が9%見られ、活用率のばらつきが課題である。

#### ② 家庭での持ち帰りの有効活用

自宅でのタブレット端末の活用率は「あまり使わない」「使わない」を合わせて52%に達しており、持ち帰りが十分に有効活用されていない状況が示唆されている。

#### ③ 自宅での活用の種類

タブレット端末を持ち帰り活用している児童生徒(35%)を全体として見ると、AI型デジタルドリルの活用は14%に過ぎず、自学で活用できるAI型デジタルドリルを宿題に出すなどの活用があまり行われていないことが課題である。